

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Alucu2号館		
○保護者評価実施期間	2024年10月25日		～ 2024年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用対象児童を、小学生5年生以上から高校生までとし、学習やコミュニケーションスキルの向上など様々なプログラム活動を実施している。	学習する流れを作り、宿題や公文式学習を通して基礎学力を高め、SSTや語彙力学習などを取り入れコミュニケーションスキルの向上を行っている。 また、理学療法士、作業療法士がおり、専門の実施訓練を行っている。	説明する力を保護者の方からもっと高めて欲しいという要望が多く、基礎の語彙力を学習し、自分の気持ちの表現、状況の説明、時系列の説明など、伝える力の向上に努めたい。
2	高校受験をする中学生の児童が多いことから、受験対策を行うことで、学習を深めたり、面接練習で自分の考えを伝える力を養うことや作業検査の練習で、細かい作業や仕訳作業などの力を養う。	受験に向けてただ受験対策をするのではなく、塾ではないので将来社会に出て必要な伝える力や相手を思いやり協働する力、自分の気持ちを言葉で表現する力を育むように関わっています。	プログラム活動および普段からの集団活動にて、相手にわかりやすく、かつ自分の気持ちもきちんと伝えられることを教えていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流する機会が少ない。	地域での生活を考えると交流の必要性を感じるが、ご家族からの要望を感じていない。 思春期の児童が多く、自分を知られたくないとはっきり言われる児童も多い。	全く地域との関わりがないのは災害時にリスクになるため、管理者が地域の清掃活動に参加するなど、自治体との関わりを持っている。
2			
3			